安定とリスクを履き違えてませんか？

安定を求めるのは人間の生物学的な性（ホメオスタシス）。

そして、リスク（危険、不安定）を嫌うのは日本人の国民性（ホフステッド指数）。

と言う事で、「就職するなら安定していて、リスクの少ない大手企業、もしくは公務員！」なんて考える方々が多くいらっしゃるのではないでしょうか？

そもそも、この文脈に置ける「安定」と「リスク」と言う言葉の定義ですが、

安定＝会社が潰れる確率が低い

リスク＝リストラされる確率が低い

と言う定義なのかと思います。

確かに、大手企業に入る事、公務員になる事で、どんな地震にも耐えうる、耐震構造がバッチリで、威厳に溢れる高級マンションに住んでいるような精神状態になれるのでしょう。

しかし、忘れてはいけないのが、未来。未来がどれほどランダムで突拍子も無く奇想天外で無慈悲な事を（ブラックスワン）。

皆様が考えないといけないリスクと言うのは、職を失った時のリスクです。

大手企業社員や公務員と言っても役職は多様にございますので、一概には言えませんが…再就職をするために必要な能力スキルを持っていない方々も結構いらっしゃるのではないでしょうか？何故なら、大手は分業化しがちで、雑用も多く、下請け企業に案件を丸投げしたり、実務経験がイマイチ身に付かなかったり、公務員も同じように民間企業で使える能力スキルが身に付く確率はさほど高くないようです。

１９９３年のIBMにおける計６万人の大量リストラにおいて、多くの社員の方々は無になったとか。現代とは違って、彼ら彼女らがIBMで培った能力スキルは当時は「需要」がさほど無かった。

そうなんです！大事なのは需要と供給を考える事なんです！

需要があって供給が足りていない稀少で、中長期的（１０年２０年）に求められるであろう能力スキルを身に付ける事が出来るような、役職に就く事が最も安定していてリスクが少ないのです。そんな役職から逆算して、企業選びをすると良いのではないでしょうか？

そしてそんな役職とは、ロボットや人工知能には出来ないお仕事、人と人が関わる事が大切となるようなお仕事と言うのが一つの基準となってくるでしょう。

コミュ力と言うのは、いつの時代も正義なのでしょうね。